

指導者認定制度について

本研究会が主催する研修会に2回以上全日参加し、研修会中に実施するゴルフ理論（実技と講義）を受講するとともに、実技テストに合格した方に大学ゴルフ指導者としての資質を保持すると認定し、認定証を授与致します。また、指導者認定の審査料は2,000円とします。（過年度の参加者は、既に受講したゴルフ理論（実技と講義）も指導者認定条件に有効です）

●実技内容：初心者指導法の受講、打撃技術のレベルアップ練習、実戦研修による総合技能とコースマネジメントの修得、およびラウンドエチケットの修得。

●講義内容：下記のような多岐にわたるゴルフ関連領域について研究討議を行うため、年度によって講義内容を変更します。このため、2回の研修会参加によって2項目以上を受講して下さい。

ゴルフの歴史、ルールとエチケット、ゴルフ用具の性能と適性、ゴルフの安全管理、ハンディキャップの知識、ゴルフのトレーニング、ゴルフと社会、ゴルフコースの内容と構成、ゴルフ場経営とクラブ運営、コース管理とメンテナンス、日本および海外におけるゴルフの現状、ジュニア・ゴルファーの現状と課題、ゴルフ会員権と法律問題など

●実技テスト：概ね108打以内（ダブルボギー平均）でラウンドできる技術力の有無と、ラウンドエチケット実践力の有無を審査します。

以下の項目について、一定レベル以上の技能を有しているか審査します。なお審査は2ラウンドにわたって行い、1ラウンド目は検定員①と同伴プレーにてエチケット実践力について審査、2ラウンド目は検定員②と同伴プレーにて技能の審査を行います。

- ① 基本の打撃技能（ウッド、アイアン）
- ② 基本的な3種類のアプローチ・ショット技能
- ③ バンカー・ショット技能
- ④ パッティング技能
- ⑤ ラウンドによる総合技能（コースマネジメント実践力を含む）
- ⑥ ラウンドエチケットの実践力

検定費用：2,000円

（2024年11月29日改訂）